

# UHCハイレベルフォーラム2025について



## 概要

【目的】UHCを推進する国及び組織のリーダーらを招聘し、UHC達成に向けた国際的なモメンタムを更に促進することを目的とする。

【開催日・場所】令和7年12月6日(土) 於：東京（赤坂インターシティコンファレンス）

【主な出席者】バンガ世界銀行総裁、テドロスWHO事務局長、UHCナレッジハブ研修参加国及びUHC達成に意欲的に取り組む国（財務・保健大臣、関係機関の長ほか）（全体で24ヶ国から、約200名が参加）

【主な日本の出席者】高市内閣総理大臣（ビデオメッセージ）、井上内閣総理大臣補佐官、片山財務大臣、上野厚生労働大臣、仁木厚生労働副大臣、三反園財務大臣政務官、武見元厚生労働大臣

## 主な成果

- 財務省、厚生労働省、世界銀行、WHOによる共同宣言
- UHCナレッジハブ設立文書（財務大臣、厚生労働大臣、世界銀行総裁、WHO事務局長により署名）
- 世界銀行、WHO発行のUHC進捗レビューのためのグローバルモニタリングレポート（GMR）
- 国家保健コンパクト（UHC達成に向けた国主導のイニシアティブ）
- 世界銀行総裁及びWHO事務局長による総理表敬



## 会合の内容

【非公開ハイレベルディスカッション】

- UHC推進に必要なリーダーシップ・ファイナンス・財保当局の連携、ナレッジハブとUHCハイレベルフォーラムの役割が議論された。

【オープニングセレモニー】

- 高市総理による開会挨拶（ビデオメッセージ）の後、UHCナレッジハブの設立文書の署名、共催者挨拶、GMR発表、参加国大臣による国家保健コンパクトの共有等がなされた。

【セッション1：パートナーの団結】

- 開発途上国と支援機関からUHC達成に向けたコミットメントの発表がなされた。



【セッション2：UHCナレッジハブ】

- UHCナレッジハブの活動と初年度研修対象国等から、各国・地域の財保当局者の視点が共有された。

【セッション3：2030年までの道程とその後】

- 2030年までのSDGs達成及びポストSDGsに向けて、持続可能な保健財政と国際協力のあり方について議論された。

## 今後の方向性

フォーラムを定期的に東京にて開催。世界銀行、WHOへの資金拠出や東京事務所整備を通じて、研修を含むナレッジハブの運営、フォーラム開催を着実に実施。